この取扱説明書は、必ず最終ユーザ様までお届けください。

保存用

高効率型熱交換器　HEXUシリーズ

取扱説明書

●ご使用前に必ずお読みください。

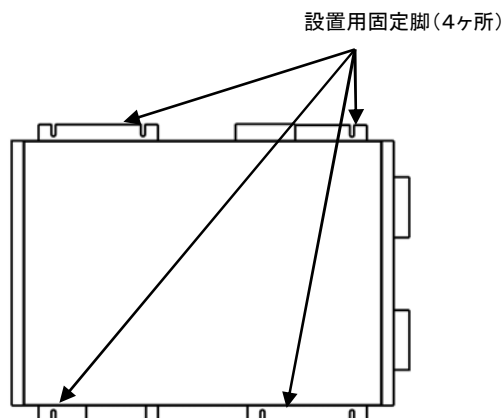
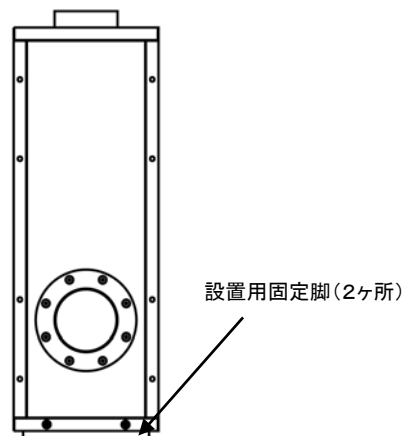
◆ このたびは、高効率型熱交換器　HEXUシリーズをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
◆ 本体の銘板にて、型式がご注文の製品に相違ないかをご確認ください。

汎用型熱交換器　HEXUシリーズ

- HEXU5
- HEXU10
- HEXU20

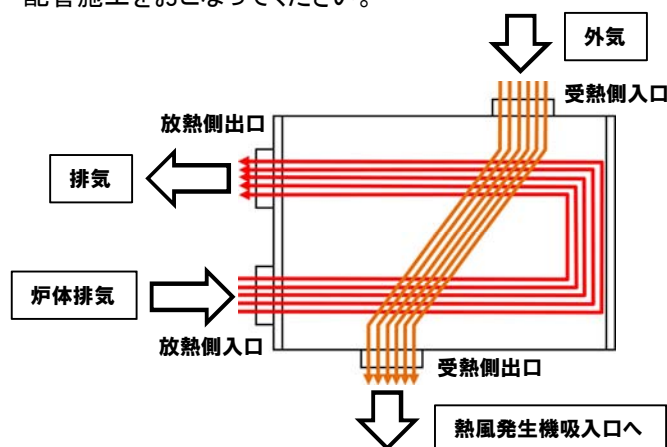
株式会社　関西電熱

1．据え付け

①熱交換器には取付位置、取付角度、取付方向に制限はありません。任意の位置へ据え付けてください。
②設置用固定脚を利用して、任意の位置へ据え付けてください。
設置する角度や方向により、設置用固定脚を付け替えて固定してください。ただし、放熱側出入口の面のみ設置用固定脚を取り付けることはできません。また、HEXU20は上面に吊り金具が装備されているため、この面にも設置用固定脚を取り付けることはできません。
熱交換器の表面は使用状況によっては高温になりますので（最高部で約150℃）、設置用固定脚を取り外して直接の設置は避け、必ず接地面に空間を設けてください。

③設置された熱交換器の上面側は特に熱くなりますので、ホコリ等の蓄積には充分ご注意ください。火災の原因になります。
④本機の表面はご使用状況によっては高温となりますので、可燃物が近接する場所には設置しないでください。また、直接、手を触れないようにご注意ください。火災や火傷の原因となります。
⑤必要に応じて本機の表面の断熱施工をおこなってください。断熱施工によって熱交換効率には大きな影響は無いため、火災防止や火傷防止の安全対策として施工してください。

2．配管

①放熱側、受熱側のそれぞれへ間違いの無いように配管をおこなってください。
- 炉体からの排気等の廃熱エア　→　放熱側入口へ
- 外気等の加熱目的エア　→　受熱側入口へ
- 受熱側出口　→　熱風発生機の吸入口へ
- 放熱側出口　→　排気へ

※　放熱側、受熱側の各出入口の方向を間違うと、熱交換率に影響がしますので、間違いのないよう、配管施工をおこなってください。

②放熱側、受熱側への配管はエア漏れの無いようにしっかりと確実に固定してください。

3. 使用上の注意

①各熱交換器の最大使用風量以下でご使用ください。最大使用風量を超えた風量で使用すると、熱交換率の低下や、過大な圧力損失により、熱源等に影響を及ぼす可能性があります。

②放熱側の圧力損失と受熱側の圧力損失を考慮してご使用ください。放熱側と受熱側の両者を1台の送風源でまかなう場合は、放熱側、受熱側の両者の圧力損失を加算した圧力が必要となります。

③乾燥炉等の排気側に熱交換器を取り付ける場合は、圧力損失により乾燥炉等への供給風量が低減する可能性があります。乾燥炉等の既存送風源で熱交換器の圧力損失を補えない場合は、排気用送風機の増設もご検討ください。

④熱交換器へ供給する排気の最高温度は200℃です。これ以上の温度を供給しないでください。内部のシール材等が破損する原因となります。

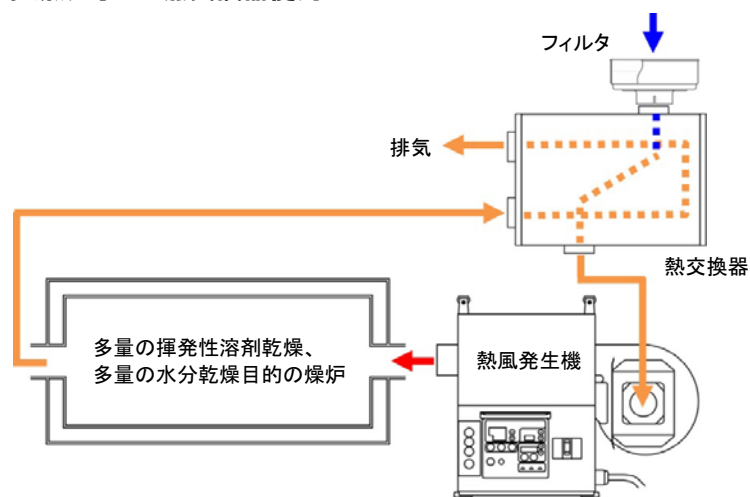
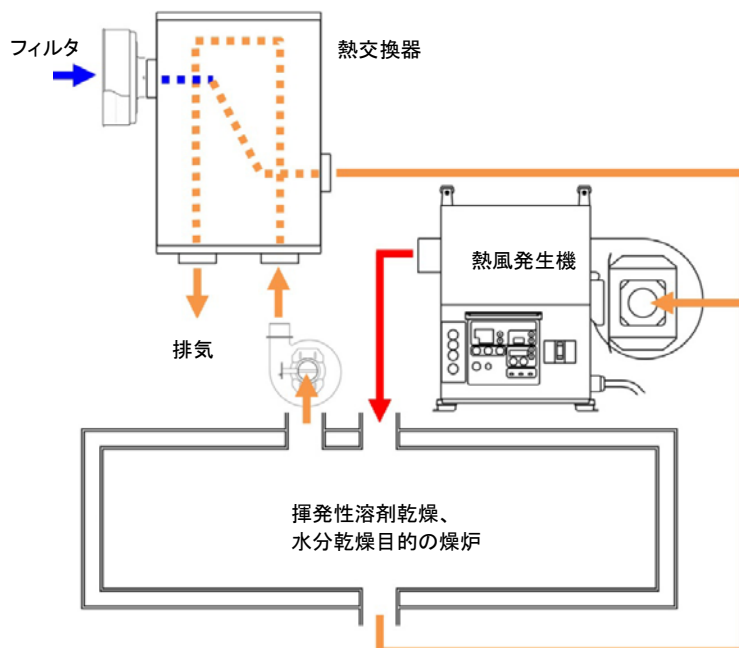
⑤熱交換器へ供給する排気、及び外気の吸い込み圧力は2．96kPa以下としてください。これ以上の圧力で使用するとエア漏れや破損の原因となります。

⑥熱交換器へ供給する排気、及び外気に多量の粉塵等が含まれる場合は、それぞれに適したフィルタを取り付けてください。

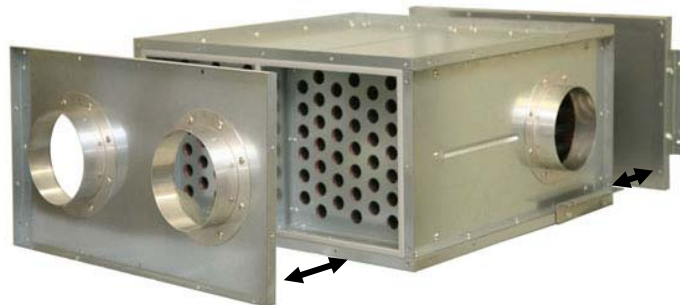
《適合フィルタ》

- 放熱側（高温排気等）　→　デミフィルタ、またはデミフィルタ＋使い捨てフィルタ
- 受熱側（外気）　→　一方通行用FWフィルタ、または高性能CRフィルタ

【基本仕様例】

・ 一方通行仕様の乾燥炉等への熱交換器使用

・ 一部排気仕様の乾燥炉等への熱交換器使用

4. メンテナンス

◆ 熱交換器の内部に粉塵、異物等が蓄積した場合は、分解清掃をおこなってください。
また、長期間の使用により著しく熱交換率が低下した場合は、内部に粉塵や異物等が蓄積している場合がありますので、定期的に内部を点検清掃されることをおすすめします。

①熱交換器の放熱側出入口面とその反対側面のパネルを取り外してください。

②ナイロン製パイプブラシ等で内部を清掃してください。 また、汚れがひどい場合は中性洗剤等で洗浄してください。
洗浄後は充分に乾燥させてからご使用ください。

③清掃後は再度しっかりとエア漏れがないよう、パネルを取り付けてください。

炉体排気に多量の水分や油分を含み、熱交換器放熱側経路にて排出用ドレン加工を施工される場合は、各機種の『ドレン加工可能位置図』をご参照いただき、加工位置を確認の上、ドレン加工を施工されますよう、お願い申し上げます。

『ドレン加工可能位置図』は当社ホームページ 熱交換器ページにてご確認いただけます。

http://www.kansaidennetsu.co.jp/

《注意》
回収排熱に硫黄分が含まれている場合は、その濃度と温度域により強い腐食環境をつくることとなり、低温酸腐食として熱交換器壁に硫酸腐食が発生しますので、ご注意ください。

熱風発生機

製 造
販売元
株式会社 関西電熱

本　社 〒577-8566 東大阪市高井田西5丁目4番18号
TEL (06) 6785-6001(代) FAX (06) 6785-6002
東京支社 〒144-0035 東京都大田区南蒲田2丁目4番4号
TEL (03) 5710-2001(代) FAX (03) 5710-2005
ホームページ www.kansaidennetsu.co.jp